

第3学年「体育」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○ 体を動かすことを楽しみ、様々な運動に意欲的に取り組むことができる。

課題 ▼ 自分の体を思っている通りにコントロールできていない児童がいる。

▼ 学び合うという意識が低く、自分ができていればよいという行動が目立つ。

▼ 自分の課題からめあてをたて、解決することを苦手とする児童もいる。

指導の重点（身に付けさせたい力）

◇ 体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けたり、それらを組み合わせたりすることができる。

◇ 友達のよさを伝え合ったり、ポイントを意識して運動に取り組んだりすることができる。

◇ 自己の能力に適した課題をもち、動きを身に付けるための活動を工夫する力。

具体的な改善策

○ 準備運動等の時間を利用して、コーディネーショントレーニングなど体幹を鍛えられるような動きを取り入れ、経験を積み重ねていく。

○ チーム戦やペアやトリオ、グループ活動を多く行い、タブレット端末も使いながら児童が自分の運動している様子を確認したり、映像を見せながらアドバイスしたりすることで、学び合いの場面を作る。

○ 課題解決できるようにするために、学習カードを活用して、毎時間ねらいと振り返りを行っていく。

達成目標

□ 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

□ 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。

□ 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。